リハビリテーション学部 作業療法学科 2024 年度活動報告

(2024 年1 月~2025 年3 月末日)

猪股 英輔：教授

【論文】

1) 猪股英輔, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 坂本俊夫, 平野夏子: 認知症高齢者のウェルビーイングと交流活動実施者の態度に関する研究—中間報告—. 東京保健医療専門職大学紀要 4(1): 73-76, 2024.

【学会発表】

1) 猪股英輔, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 平野夏子, 坂本俊夫: 理学療法・作業療法学生における認知症高齢者に対する態度との関連要因. 第 25 回日本認知症ケア学会大会. 東京国際フォーラム, 2024 年 6 月 15 日.

2) 猪股英輔, 坂本俊夫, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 平野夏子: アルツハイマー型認知症高齢者に対する交流活動実施者の態度がおよぼす影響—笑顔の表出と社会的交流技能を指標としたシングルケーススタディー—. 第 5 回 TPU 学術大会. 東京保健医療専門職大学, 2024 年 12 月 14 日.

【社会貢献活動】

- 1) 東京都作業療法士理事会 理事
- 2) 東京都作業療法士会地域づくり共創部 担当理事
- 3) 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員 (2014 年 6 月より現在に至る)
- 4) 東京都作業療法士会 東京都作業療法学会 演題査読委員 (2014 年 6 月より現在に至る)
- 5) 日本作業療法士協会 学術誌「作業療法」査読委員 (2019 年 6 月より現在に至る)
- 6) 日本作業療法士協会 学会演題 査読委員 (2014 年 12 月より現在に至る)
- 7) 日本保健科学学会 論文査読委員 (2020 年 4 月より現在に至る)

8) 日本訪問リハビリテーション協会制度対策部 部員 (2018 年 10 月より現在に至る)

9) 日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント指導者 (2015 年 9 月より現在に至る)

10) 社会福祉法人雲柱社 評議員 (2017 年 6 月より現在に至る)

11) 江東区助け合い活動連絡会 会員

【学会・研修会講師など】

1) 東京都作業療法士会地域づくり共創部 地域づくり人材育成研修「基礎編」研修会講師, オンデマンド配信.

2) 東京都立大学大学院人間健康科学研究科 老年期地域作業療法学演習「質的研究法」非常勤講師, 東京都立大学, 2024 年 10 月 18, 19 日.

3) 東京都作業療法士会 現職者共通研修「保健・医療・福祉と地域支援」研修会講師, Web 研修, 2024 年 10 月 20 日.

4) 日本作業療法士協会 重点課題研修「作業療法士に求められる生活環境支援の知識と技術」研修会講師, Web 研修, 2024 年 12 月 22 日.

伯母 治：教授

【論文】

1) 「慢性痛者へのリハビリテーション実践に向けた知識理解向上の取り組みとその課題」伯母治. 東京保健医療専門職大学紀要 (印刷中)

【社会貢献・学外貢献活動】

1) クラーク記念国際高校 高校生説明 (リハビリテーション・作業療法とは (2024.8))

2) 第 21 回 職業教育研究集会 運営委員 (2024.10)

3) 東京保健医療専門職大学第 5 回学術大会 学術

大会準備委員 (2024.11)

【学会・研修会講師など】

- 1) 慢性疼痛診療オンライン研修会運営およびファシリテーター：表記講習会をオンラインにて実施し、参加者をグループ分けしグループのファシリテーターを実施。(2024.9)
- 2) クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会 理事 (2019年～現在)
- 3) 千葉県地球温暖化防止活動推進員 (2022.4～2027.3)

大澤 彩: 教授

【論文】

「乳がん患者の生活上の問題とリハビリテーション」Breast cancer patients in their daily lives and issues concerning rehabilitation. 大澤彩.東京保健医療専門職大学紀要 (印刷中)

【社会貢献・学外貢献活動】

- 1) 品川区旗の台心身障害児者相談支援センターにて高次脳機能専任相談員 (2011.5～現在)
- 2) しながわほっとインフォメーション (品川区公式チャンネルしながわネット TV) 地域高次脳機能障害者とその支援の必要性について教育動画を撮影配信. (2024.3)
<https://www.youtube.com/watch?v=Y9wyOUwf2wc>
- 3) しながわほっとインフォメーション (品川区公式チャンネルしながわネット TV) 高次脳機能障害 専門相談について共育広報動画を撮影配信. (2024.3)
<https://www.youtube.com/watch?v=EKfFBGUcRaQ>
- 4) 千葉聖心高等学校の医療系進学を検討している 2.3 年生向けに、OT 概論と車いす実習。(2024.8)
- 5) 植草学園高校の医療系進学を検討している 1 年生に向けて OT 概論の講義。(2025.2)
- 6) 「ハーバリウムと作業療法」：高校生と保護者向け講義。(2025.3)

7) 江東区アダプトプログラム参加。

【学会・研修会講師など】

- 1) 日本作業療法士学会 演題審査委員 (2017年～現在)
- 2) 日本リハビリテーション連携科学学会 理事 (2020年～現在)
- 3) 品川区相談支援員スキルアップ講習会講師 (2025.1)

菊地みほ: 教授

【論文】

Medical Support and Legacy of TOKYO2020 Paralympic Games, International Journal of Case Reports and Clinical Images, March 2024

【学会発表】

第 26 回日本褥瘡学会: 脊椎損傷パラスポーツ選手の褥瘡発生と発生予防, 2024 年 9 月

【社会貢献活動】

- 1) 日本盲導犬協会 募金活動及び寄附
- 2) 能登半島地震 街頭募金活動及び寄附
- 3) 能登半島豪雨 街頭募金活動及び寄附

【学会・研修会講師など】

- 1) ソーシャルワーク研修会・講師
- 2) 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会理事 (2017年～現在)

近野 智子: 教授

【論文】

- 1) 近野智子: 手段的日常生活動作の実施状況に影響を与える要因に関する文献研究. (和文) 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌 22 (1): 81-86, 2024.
- 2) 近野智子: 回復期リハビリテーションにおける活動と参加の支援に関する文献研究. (和文) 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌 22(1):75-80, 2024.
- 3) 河邊宗知, 坂本俊夫, 佐藤淳矢, 齋藤久恵, 近野智子: 作業療法学科学生における臨地実務実習前

後の自己効力感調査. (和文)日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌 22(1):67-74,2024.

【社会貢献活動】

(団体等役員等)

- 1)日本作業療法教育学会 理事、事務局長 (2018年～現在に至る)
- 2)日本作業療法士協会 学術部 部員 (マニュアル編集担当) (平成 27 年 4 月～現在)
- 3)東京都作業療法士会 東京都作業療法学会 演題査読委員 (平成 28 年 9 月～現在)
- 4)東京都作業療法士養成校連絡協議会各校代表 (2020 年 4 月～現在まで)

若原 圭子：教授

【論文】

若原圭子：障害等のある旅行者に対する健常旅行者の意識とその背景に関する研究 —ユニバーサルツーリズムに関わる意識のバリアの影響について—

第 27 回日本福祉のまちづくり学会全国大会 (札幌) 梗概集

【学会発表】

若原圭子：障害等のある旅行者に対する健常旅行者の意識とその背景に関する研究 —ユニバーサルツーリズムに関わる意識のバリアの影響について—

第 27 回日本福祉のまちづくり学会全国大会 (札幌) 2024 年 8 月 31 日

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

科研費 基盤研究 C 「ユニバーサルツーリズム実現のための下肢障害当事者への方策の課題と策定」

令和 5 年度～7 年度 (364 万円) 研究代表者 (単独) (継続) (科研費 基盤研究 C 23K11639) 研究倫理審査番号 TPU-24-029 **【社会貢献活動】**

江東区アダプトプログラム参加

秋元 美穂：准教授

【論文】

筋萎縮性側索硬化症者に対する ICT を用いたコミュニケーション支援機器介入モデルの開発に向けたインタビュー・アンケート調査によるコミュニケーション障害の現状分析 共著. 2024.3

東京保健医療専門職大学紀要 第 4 巻第 1 号:59-61.

著者：秋元美穂、坂本俊夫、西澤達夫、河邊宗知

【学会発表】

秋元美穂、坂本俊夫、山田孝. 看護小規模多機能型居宅介護における作業療法士の遠隔介入の試み. 第 5 回 東京保健医療専門職大学学術集会. 2024.12.14

【社会貢献活動】

- 1) NPO 法人境を越えて：筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 当事者が代表の NPO 法人で開催されるイベントの支援.
- 2) 公益社団法人 地域医療振興協会：依頼された住宅改修についての支援.
- 3) 東京都作業療法士協会：障害者支援施設へのリハビリテーション配置促進事業で、依頼があった入所施設での支援.

小野寺 哲夫：准教授

【著書・論文・翻訳】

1) 小野寺哲夫、畠山久司、大塚幸恵、森本晃司、武井圭一；医療系専門職大学における 1、2 年生の学年末学生アンケートから見えてきた継時的変化について—Lysgaard の U カーブ仮説からの検討. リハビリテーション教育研究, 第 30 号, p.37-42, 2024. (査読あり)

2) 森本晃司、畠山久司、大塚幸永、小野寺哲夫、武井圭一、富田義人、江幡真史、鳥居昭久；理学療法・作業療法養成課程を有する専門職大学の魅力度・認知度の調査—入学時学生アンケートによる実態調査. リハビリテーション教育研究, 第 30 号, p.49-54, 2024. (査読あり)

3) 小野寺哲夫、柳澤孝主；子どもの親化としてのヤングケアラーに関する尺度開発および家族スタイルとの関連性に関する研究－東京保健医療専門職大学の作業療法学科・理学療法学科1年生における検討. 敬心・研究ジャーナル, 第8巻第1号 p.13-25, 2024. (査読あり)

4) 小野寺哲夫、遠藤哲哉；地域変革を成し遂げられるキーパーソンの特徴に関する研究～コミュニティ・イノベーション尺度の信頼性と妥当性の検討～. 地域経営学研究, 第6巻第2号 p.1-32, 2025. (査読あり)

5) 小野寺哲夫；PT・OTのための心理学・臨床心理学 (251頁). JFA パブリッシング.

6) 小野寺哲夫訳；臨床心理学における帰属理論 (208頁) JFA パブリッシング. (Friedrich Försterling(1988) Attribution Theory in Clinical Psychology. Wiley.)

7) 小野寺哲夫訳；帰属分析: 質的データのためのLACS法マニュアル (235頁) JFA パブリッシング. (Anthony G. Munton, Joanne Silvester, Peter Stratton, Helga Hanks (1999) Attributions in Action: A Practical Approach to Coding Qualitative Data. Wiley.)

8) 小野寺哲夫訳；責任帰属: 社会行為の基礎理論 (412頁) JFA パブリッシング. (Bernard Weiner (1995) Judgments of Responsibility: A Foundation for a Theory of Social Conduct. Guilford Press.)

9) 小野寺哲夫訳；陰謀論の心理学 (160頁) JFA パブリッシング. (Jan-Willem Prooijen (2018) The Psychology of Conspiracy Theories. Routledge.)

10) 小野寺哲夫訳；ヒプノセラピー (349頁) 金剛出版. (Dave Elman (1984) Hypnotherapy. Westwood Pub Co.)

【学会発表】

1) 小野寺哲夫；ヤングケアラーの実態調査と家族心理学的研究－医療系大学と人文社会系大学の統合データにおける検討. 日本心理臨床学会第43回大会：パシフィコ横浜, 2024年8月23日.

2) 小野寺哲夫、遠藤哲哉 (共同発表)；地域変革を成し遂げられるキーパーソンの特徴に関する研究：コミュニティ・イノベーション尺度の信頼性と妥当性の検討. 第39回産業組織心理学会:文教大学越谷キャンパス, 2024年9月1日.

3) 小野寺哲夫；W杯サッカーにおけるマイサイド思考に関する研究：愛国心、ナショナリズム、アイデンティティ融合が試合結果の原因帰属に与えるマイサイドバイアスの影響. 日本心理学会第88回大会：熊本城ホール, 2024年9月6日.

4) 小野寺哲夫；医療系大学と人文社会系大学1年生におけるヤングケアラーに関する家族心理学的研究. 日本家族心理学会第41回大会：鈴鹿医療科学大学, 2024年10月12日.

5) 小野寺哲夫；地域イノベーションを起こせる人の考え方や性格特性とは何か？～コミュニティ・イノベーション尺度の信頼性と妥当性の検討. 東京保健医療専門職大学第5回学術大会:東京保健医療専門職大学講堂, 2024年12月14日.

【学会活動】

1)地域経営学会大学問題特別委員会：大学問題特別委員

2)一般社団法人日本家族心理学会 (JAFP)：第5期選挙管理委員会選挙管理委員長

【社会貢献等】

(研修会講師等)

1) 三軒茶屋病院, 看護師研修会講師：教育研修メンタルヘルス, 2024年5月15日.

2) 三軒茶屋病院, 看護師研修会講師：教育研修アサーショントレーニング①, 2024年6月19日.

3) 福島県立あぶくま支援学校, 支援学校教員研修講師：OJL研修会 (組織学・組織心理学), 2024年8月20日.

4) 福島県立相馬支援学校, 支援学校教員研修講師：ミドルリーダー研修会 (OJL 組織学・組織心理学), 2024年8月21日.

5) 三軒茶屋病院, 看護師研修会講師：教育研修アサーショントレーニング②, 2024年10月1日.

6) (公社)全国柔道整復学校協会 柔道整復師専科教員認定講習会 (教育心理①~⑫:全12コマ)
講師:東京メディカルスポーツ専門学校, 2024年6月30日(日), 7月13日(土), 7月20日(土).

齋藤 久恵:准教授

【論文】

1) 猪股英輔, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 坂本俊夫, 平野夏子: 認知症高齢者のウェルビーイングと交流活動実施者の態度に関する研究—中間報告—. 東京保健医療専門職大学紀要 4(1): 73-76, 2024.

【学会発表】

1) 猪股英輔, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 平野夏子, 坂本俊夫: 理学療法・作業療法学生における認知症高齢者に対する態度との関連要因. 第25回日本認知症ケア学会大会. 東京国際フォーラム, 2024年6月15日.

2) 猪股英輔, 坂本俊夫, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 平野夏子: アルツハイマー型認知症高齢者に対する交流活動実施者の態度がおよぼす影響—笑顔の表出と社会的交流技能を指標としたシングルケーススタディー. 第5回TPU学術大会. 東京保健医療専門職大学, 2024年12月14日.

【学会活動・研修会講師等】

(団体等役員等)

1) 日本作業療法士協会 教育部部員 (2011年4月~現在に至る)

2) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会 東京地区委員 (2011年4月~現在に至る)

3) 一般社団法人全国リハビリテーション学校協会 理事会推薦理事 (2015年~現在に至る)

4) 理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会 運営部部員 (2021年10月~現在に至る)

(講演等)

1) 第3回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会:「人間関係論」講師 2024年12月(全8回)

【社会貢献等】

1) 江東区アダプトプログラム 参加

2) 認知症カフェ

坂本 俊夫:准教授

【論文】

1) 坂本俊夫 (2024) 「リハビリテーションによる脳血管障害者のスピリチュアリティの評価モデルの検討—1事例の分析からの一考察—」敬心・研究ジャーナル 8 (1): 35-42.

2) 坂本俊夫 (2024) 「運動学の授業計画に関する一考察—各回授業前後のアンケート回答からの分析—」東京保健医療専門職大学紀要 4 (1): 48-52.

3) 秋元美穂, 坂本俊夫, 西澤達夫, 河邊宗知 (2024) 「筋萎縮性側索硬化症者のコミュニケーション活動支援に関わる現状分析とICTを用いたコミュニケーション支援機器介入モデルの開発—アンケート作成に関する情報収集—」研究報告2022年度学内共同研究費」東京保健医療専門職大学紀要 4 (1): 59-61.

4) 畠山久司, 猪股英輔, 佐々木清子, 坂本俊夫 (2024) 「境界知能の子どもを持つ保護者の小学校就学先決定に関する意思決定プロセスの解明—複線径路等至性アプローチを用いた分析より(経過報告)—」研究報告」東京保健医療専門職大学紀要 4 (1): 59-61.

5) 猪股英輔, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 坂本俊夫, 平野夏子 (2024) 「認知症高齢者のウェルビーイングと交流活動実施者の態度に関する研究—中間報告—」研究報告」東京保健医療専門職大学紀要 4 (1): 73-76.

【学会発表】

1) 坂本俊夫; PC-3-9 「運動学授業におけるルーブリック自己評価の導入効果の一考察」第20回東京都作業療法学会. 2024年7月14日. (ポスター, 単独), 東京都

2) 坂本俊夫; 脳血管障害失語症事例へのスピリチュアリティ評価からの一考察. 第21回職業教育研

究集会. 2024年10月26日. (口述, 単独) オンライン.

3) 坂本俊夫; 作業療法臨床評価における脳波測定等の活用についての文献研究, 第58回日本作業療法学会. 2024年11月10日 (ポスター, 単独), 札幌.

4) 坂本俊夫: 知的障害者の社会的行動の評価における一考察, 第6回神奈川県臨床作業療法大会, (ポスター, 単独), 小田原.

5) 坂本俊夫: スピリチュアリティの変容に関する生体反応の定量的分析の試み, 第5回東京保健医療専門職大学学術大会, (口述, 単独) 東京.

【共同研究・競争的資金等の研究課題】
(競争的資金等)

1) 坂本俊夫「リハビリテーションによる脳血管障害者のスピリチュアルケア介入モデルの開発, 2021年度研究活動スタート支援 (区分: 基金, 課題番号: 21K21175)」日本学術振興会, 令和3年9月より令和5年3月まで.

【社会貢献活動】

(学術団体等の役員等)

1) 日本作業療法士協会機関誌編集協力者 (第一査読) (平成29年4月~現在)

2) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員 (審査員 A) (平成29年9月~現在)

3) 日本作業療法学会 第6期演題審査委員 (令和3年2月~現在)

4) 神奈川県作業療法士会, 神奈川県作業療法研究編集班, 編集委員 (平成19年7月~現在)

(地域貢献・社会福祉連携)

1) 認知症カフェ: 東京保健医療専門職大学: 参加者への作業療法技術支援

2) 江東区亀戸福祉園: 施設利用者及び施設職員への作業療法技術支援

3) UR 都市機構豊洲四丁目団地連携イベント (共催・協力): 団地住人および近隣住民への作業療法技術支援

新泉 一美: 准教授

【論文】

Evaluating the Psychometric Properties of the Occupational Self-Assessment Short Form Japanese Version: A Rasch Analysis Study (共著)
「作業に根ざした実践」の現状調査と関連要因の検討 (共著)

作業に根ざした実践に伴う作業療法理論の使用状況と学習動機に関するアンケート調査 (共著)

【学会発表】

A Survey on the Use of Occupational Therapy Theories and Motivations for Learning Occupational Therapy Theories to Occupation-Based Practice

就労継続支援 B 型の利用で患者役割中心の生活から価値が変化した事例

急性期病棟での人間作業モデル活用に関する文献レビュー

【社会貢献活動】

国立市地域ケア会議

国立市総合事業 訪問型サービス C

つくば市地域ケア会議

【学会・研修会講師など】

日本作業療法学会 未来の作業療法を支援するロボット開発のあるべき姿を考えよう

茨城障がい支援協議会 就労支援の歴史

特別支援学校 外部専門指導員

タナベセラピー講習会 (年6回)

井川 大樹: 講師

【論文】

井川大樹; 「高等教育機関での学外実習に関するデータベース化への試み」和文. 東京保健医療専門職大学紀要第四巻 (査読あり)

【著書】

編集 濱口豊太他; 標準作業療法学[専門分野] 基礎作業学第4版. 医学書院 (分担執筆)

【学会発表】

井川 大樹：「Exploring the Dynamics of Interpersonal Contact Effects Persisting After Disengagement from Tactile Connections」第8回アジア太平洋作業療法学会. 2024年11月7日(口述、単独)

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援採択「離れた後にも残存する対人接触効果ダイナミクスの解明」(採択額 3,120,000 円)

【社会貢献活動】

江東区アダプトプログラム 参加

井川大樹:「作業療法ってスゴイ!私のリハビリ症例紹介」. 出前講義. 共栄高等学校模擬授業. 2024年7月8日

河邊 宗知：講師

【論文】

河邊宗知, 坂本俊夫, 佐藤淳矢, 齋藤久恵, 近野智子: 作業療法学科学生における臨地実務実習前後の自己効力感調査. (和文) 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌 22(1):67-74,2024.

【社会貢献活動】

1) 東京都作業療法士会 教育部員(臨床実習指導者講習会担当)

2) 豊島区児童発達支援センター専門相談員

【学会・研修会講師など】

豊島区機関学習会講師「発達の気になる子どもと保護者へのサポート」,WEB 研修,2024年1月31日

佐藤 淳矢：講師

【論文】

1)佐藤 淳矢, 平 孝臣, 安藤 俊貴, 北田 航也, 石岡 俊之; 本態性振戦に対する視床中間腹側核熱凝固術における体性感覚の変化と足圧中心位置の治療側偏位との関連. 機能的脳神経外科, 63, p. 243-250 2025年1月 (査読有り, 筆頭著者, 責任著者)

【学会発表】

1)Displacement of the center of pressure and somatosensory function in individuals with essential tremor following stereotactic surgery targeted at the ventral intermediate nucleus. Atsuya Sato, Takaomi Taira, Toshiki Ando, Toshiyuki Ishioka. 6th International Brain Stimulation Conference, 2025年2月(共同・筆頭演者)

2)定位脳手術による熱凝固療法を施行した本態性振戦患者への上肢機能練習を行い機能向上を認めた症例. 安藤俊貴, 佐藤淳矢, 佐々木一成, 平孝臣. 第65回 全日本病院学会 2024年9月(共同)

畠山 久司：講師

【論文】

1)畠山久司, 助川文子, 山西葉子, 高島紀美子, 伊藤祐子: 幼児期前期の母子間の相互的なふれあい遊びがアタッチメントに及ぼす影響の探索的研究. 作業療法, 43 (2): 185-193. (共著 筆頭) (査読あり)

2) 畠山久司, 伊藤祐子: 我が国における乳幼児と母親間の身体接触に関するスコーピングレビュー-母子関係に着目して-. 日本保健科学学会誌, 27(3): 125-137. (共著 筆頭) (査読あり)

3) 畠山久司, 田中亮, 酒井康年, 嘉門邦岳: 福祉型の障害児通所支援における作業療法士の現状に関する文献レビュー. 日本発達系作業療法学会誌, 11(1): 9-18. (共著 筆頭) (査読あり)

4) 畠山久司: 発達障害のある乳幼児期の子どもを持つ家族に対する支援の事例. 小児リハビリテーション, 19: 58-67.

【学会発表】

1) 把持様式に影響する上肢機能. 第20回東京都作業療法学会. 2024年7月14日. (共同)

2) 学齢児の把持様式と書字の得意さと関連する遊び体験や筆記具の使用体験との関連. 第34

回日本保健科学学会学術集会, 2024年10月19日。(共同)

3) 境界知能の子どもを持つ保護者の小学校就学先決定に関する意思決定プロセス—複線径路等至性アプローチを用いた一事例の分析—

第58回日本作業療法学会, 2024年11月9日。(共同・筆頭演者)

4) 学習に困難を抱える学生への感覚統合機能評価からの支援—2事例の報告から—, 第41回日本感覚統合学会研究大会, 2024年12月14日。(共同)

5) 感覚統合療法の視点を取り入れた小集団活動において家族に役だったことはなにか〜SCATによる分析〜, 日本発達系作業療法学会第13回学術大会, 2025年3月16日。(共同)

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

1) 幼児期前期における相互的な親子ふれあい遊びとアタッチメントとの関連性の解明: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2024年4月-2029年3月 (研究代表)

【社会貢献活動】

(所属学外組織)

- 1) 日本作業療法士協会 学術部 部員
- 2) 雑誌「小児リハビリテーション」 編集委員
- 3) 臨床実習指導者講習会 世話人
- 4) 江東区自立支援協議会児童部会 委員
- 5) 日本発達系作業療法学会第13回学術大会 事務局長

【学会・研修会講師など】

(学会)

日本作業療法士協会, 東京都作業療法士会, 日本感覚統合学会, 日本発達系作業療法学会, 日本臨床作業療法学会, 日本小児精神神経学会, 日本保健科学学会, 日本特殊教育学会, 日本作業療法教育学会

(研修会講師)

- 1) 認定作業療法士取得研修 選択(発達障害)
- 講師

日時: 2024年12月14日-15日 主催: 日本作業療法士協会

2) 中級パラスポーツ研修会 講師

日時: 2024年10月12日 主催: 日本作業療法士協会

3) 福生市ことばの教室研修会 講師 (テーマ「読み書きの支援に関して」)

日時: 2024年12月20日 主催: 福生市立第七福生小学校

4) 狛江市市民公開講座 講師 (テーマ: 「子どもの生活を豊かにする遊びのエッセンス〜作業療法士からの提案〜」)

日時: 2024年9月14日 主催: 狛江市児童発達支援センター

5) 狛江市保育園・学童クラブ合同研修会 講師 (テーマ: 「子どもが主体のコミュニケーション〜作業療法士からの提案〜」)

日時: 2025年1月20日 主催: 狛江市子ども発達支援課

6) 文京区教育センター 研修会 (テーマ: 「子どもの「どうしてだろう?」を考える〜感覚統合理論の視点〜」)

日時: 2024年7月31日 主催: 文京区教育センター

7) チャレンジドチア・パラチア指導者ライセンス講習会 講師 (テーマ: 「子どもの「どうしてだろう?」を考える〜感覚統合理論の視点〜」)

日時: 2024年6月30日 主催: Spitzen Performance

8) 港区私立保育園園長会 講師 (テーマ: 「子どもの身体の育ちと園でできる身体発達を促す遊び〜作業療法士の視点からの提案〜」)

日時: 2024年10月17日 主催: 港区保育課

平野 夏子: 講師

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

平野夏子、小野寺哲夫、坂本俊夫、岩下尚史、永井

友佳子、五十嵐萌「認知症病棟の音楽療法において歌唱活動の有無が参加者のウェルビーイングに与える影響」

【社会貢献活動】

・江東区・東京保健医療専門職大学福祉連携 認知症カフェ「塩浜ペンギンカフェ」2024年5月11日～2025年1月11日、全5回

・TPU×UR都市機構「UR4丁目団地 大人のための健康増進プログラム」2024年9月5日～10月3日、全3回

「大人のためのクリスマス会」2024年12月19日

【学会・研修会講師など】

(学会・研修会講師)

・第7回日本音楽療法学会関東支部都県別講習会・埼玉、シンポジウム「コロナからのリ・スタート」(企画・司会) 2024年1月8日

・日本音楽心理学音楽療法懇話会 第382回講習会「音楽療法におけるエビデンスとストーリー～地域医療の現場から～」(講師) 2024年12月11日

・日本音楽療法学会第23回近畿支部学術大会講習会「音楽療法士のための著作権の話」(オンデマンド講座・講師) 2025年3月3日～3月16日

・日本音楽療法学会資格取得必修講習会講師、2024年1月～10月

(学術団体等の役員等)

・一般社団法人日本音楽療法学会 代議員 (2007年4月～現在)

・同・必修講習会運営委員 (2018年10月～2024年10月)

・同・倫理委員会副委員長 (2022年6月～現在)

・同・関東支部 幹事 (2008年4月～現在)

・同・関東支部 副支部長 (2023年4月～現在)

・第25回日本音楽療法学会学術大会実行委員 (2024年4月～現在)

・日本音楽心理学音楽療法懇話会理事 (2014年4月～現在)